

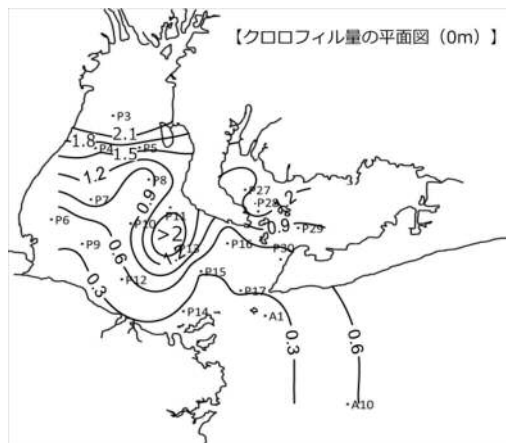
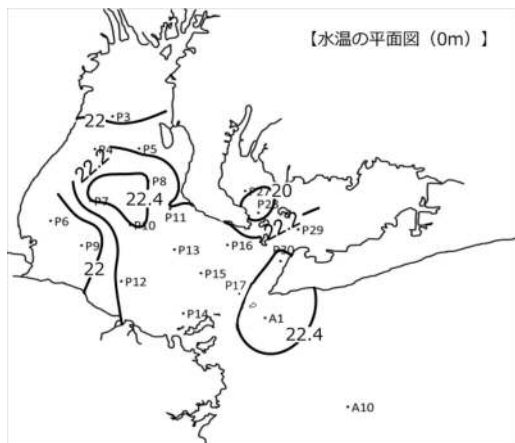
海況情報

愛知県水産試験場漁業生産研究所

【内湾湾口観測結果（調査日：10月8～10日）】

平成26年10月16日

表層水温は、湾奥部から三重県側で21℃台、湾中央部から湾口部で22℃台でした。クロロフィル量は湾奥部から知多半島西岸で高くなっていました。



【鉛直分布（調査点：P3～A10）】

水温は概ね22℃台で概ね平年並みでした。表層から下層までの水温差が小さく、鉛直混合が進んでいますが、湾内では、河川水の流入により、塩分、密度とも表層がやや低く、弱く成層していました。

渥美外海（A10）では、10m～25m層でクロロフィル量が0.8 μg/mL以上となっていました。表層水温の低下により、鉛直混合が進み、下層から栄養塩が供給され、植物プランクトンが増加していたと考えられます。

なお、13日に通過した台風19号の影響により、現在海況は変わっている可能性があります。

